

ともに

平成29年5月9日発行 《文責》 校長:大野敬一郎 副校長:北村征一郎

地域ボランティアの皆様、今年度も御世話になります

新緑が鮮やかな大変すがすがしい季節となりました。ゴールデンウィークも大きな事故や問題もなく、保護者及び地域の皆様の御協力に感謝申し上げます。

観瀾校では、今年度も地域からのボランティアの皆様にご協力いただき、「ともに」児童生徒の指導にあたります。昨年度は、実に延べ500人以上の方々の御協力をいただき、とても有り難いことと思っています。4月27日(木)は、小学部のすくすくタイムにて多数御来校いただきました。5月2日(火)は、3年生の習字ボランティアの皆様にご指導いただきました。今年度も、芦刈っ子のために、どうぞよろしく願いいたします。



他のボランティアさんについては、年間を通して随時、御紹介させていただきます。

給食運営委員会・献立委員会を開催しました

観瀾校の給食は、校舎敷地内にある小城市芦刈給食センターから提供されており、給食センターの職員も観瀾校職員です。2日(火)の運営委員会では、小城市の今村教育長さんの御出席のもと、給食費決算報告、監査報告、給食実施計画、予算等について協議しました。献立委員会では、本村保体厚生部長さんの御出席のもと、昨年度の残食調査結果、献立案、衛生管理等について協議しました。



観瀾校の給食は、とてもおいしいと評判の自慢の給食です。今年度も「安心・安全でおいしい給食」を提供し、「楽しみな給食、楽しい給食」となるよう、児童生徒の食による「笑顔」を求めてみんなで頑張ります。

右に今年度の「教育計画(掲示用ダイジェスト版)」を載せております。今年度も、保護者や地域の皆様、関係機関等の皆様と「共に学び、共に考え、共に創る、芦刈観瀾校」となるよう頑張りますので、御確認くださいようお願いいたします。

< 学校教育目標 >

ふるさとを愛し、未来を拓く、心身ともに元気な子どもの育成

【H29年度の重点目標】

- ①学力向上
 - ・小中教職員が教科を軸に学び合い、特別支援教育の観点に立って、児童生徒が主体的、積極的に学ぶ授業を追究する。
 - ・「家庭教育の推進」の実践を推進し、保護者とともに児童生徒の「家庭学習」に対する意識改革を図る。
- ②豊かな心の育成教育
 - ・全教育活動で「あいさつ」と「笑顔」を大切にする。
 - ・現状と課題を把握し、特別支援教育の観点に立ち、発達段階に応じて、人と人との関わりを大切にした「思いやる言葉」を指導する。
- ③自己肯定感を高める教育相談体制・生徒指導体制
 - ・児童生徒の実態に基づき、定期的な情報交換を行う場を確保し、関係機関と連携を図りながら、未然防止・早期発見・早期対応を推進していく。

< めざす学校像 >

『共に』

共に学び・共に考え・共に創る

< めざす子ども像 >

- あ いさつを進んでする子ども
- い のちを大切にする子ども
- あ かるく、礼儀正しい子ども
- し っかり学びあい、考える子ども
- の びのびと、たくましい子ども
- こ まったときは、助け合う子ども

< めざす教師像 >

- 子どもを愛し、豊かな心をもつ教師
- 子供に寄り添い、共に学ぶ教師
- 確かな指導力(授業力)のある教師
- 常に危機意識をもった教師
- 保護者・地域と共に歩む教師

【H29年度の重点目標】

- ④ICT利活用教育の推進
 - ・授業におけるタブレット活用研修を実施する。
 - ・教育講演会を開催し、児童生徒及び保護者の情報モラル意識の向上を図る。
- ⑤地域連携の推進
 - ・地域ボランティアの協力を得て、各学年で取り組んでいる活動内容を見直し、より効果的な活動を仕組む。
 - ・学校だより及びHP等を通して積極的な情報を発信する。
- ⑥小中一貫教育
 - ・教科部会を軸とする校内研究体制で、9年間を見通した授業づくりを推進する。
 - ・小中合同の部組及び学校行事等の充実を図る。
 - ・小中の交流授業等を実施し、授業力の向上を図る。

9年間の一貫した系統的・計画的な教育活動

小学部					中学部			
1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	7年生	8年生	9年生
前期			中期			後期		
基礎・定着			基礎・活用			探究・発展		
☆規則正しい生活 ☆基礎的内容の定着を図る学習				☆「めあて」をもった生活 ☆基礎的内容を活用する力を育成する学習		☆「向上心」のある生活 ☆主体的に課題を見出し、探究する力を育成する学習		
学級担任制					教科担任制			